



高知県立盲学校

校長室だより



No.1

平成30年4月25日

～「笑顔」「夢」「感動」あふれる学校を目指して～

今年は桜の開花が早かったため駆け足で春が通り過ぎるのかと思えば肌寒さに戻り、やっと春らしい気候になってきたと思えば、急に初夏を感じる陽気となりました。ご入学、ご進級おめでとうございます。平成30年度、高知県立盲学校は21名の幼児児童生徒でスタートしました。

先週はご多用な中、多くの保護者の皆様に授業参観およびPTA総会へのご出席をいただきありがとうございました。その場でもご挨拶をさせていただきましたが、4月より高知県立盲学校の校長として着任しました八木千晶と申します。3年前までの6年間、最初の3年間は教諭として（2年間はコーディネーターとして地域支援・教育相談担当、1年間は小学部の担任）、後の3年間は教頭として勤務をさせていただいていました。昨年度までは、肢体不自由特別支援学校の高知若草養護学校で3年間副校長として勤務していました。久しぶりに帰った我が家のような盲学校で、保護者の皆様に温かく迎えていただき、感激とともに身の引き締まる思いで一杯です。

さて、学校経営についてですが、この学校を「笑顔」・「夢」・「感動」が溢れる学校にしていきたいと考えています。そして、『入学して良かった、入学させて良かった、働いて良かった学校』を目指します。子供が学びがいのある盲学校、保護者が通わせがいのある盲学校、地域が応援がいのある盲学校、教員が働きがいのある盲学校をつかっていくため、教職員一同力を合わせて「チーム高知盲」として全力で邁進していきますので、どうぞよろしくをお願いします。



色んな音が聞こえてきます！

校内を回っていると、授業をしている教室から色んな音が聞こえてきます。その音に惹かれて教室をのぞいたり、入ってみた教室で新たな音に出会ったりします。最近聞こえた「音」を少し紹介します。

♪「ピーピー」音楽室から小学部のソプラノ笛を練習する音でした。笛から綺麗な音を出すのは、息の強さや吹き入れる方向などに気を付けなくてはいけません。最初はなかなか難しいですが、綺麗な音を出すことができた「感激」は大きいですね。

♪「ガシャッ、ガシャン」中学部・高等部の作業学習をしている部屋で空き缶を潰す音です。足で潰す専用の道具を使って、体重をのせて潰しています。空き缶をきれいに洗う水の音や、プルタブを外す音も聞こえました。

♪理療科の「あんま実技」の授業の様子を見学しました。左右の手を少しずつ握ったり開いたり、両掌を合わせて小指側で患者さんの体を叩く練習をしたり、どれも正しい位置や動作で出る音があるようです。全盲の先生の少しの音の違いを聞き分けたアドバイスを聞き、正しい音を出そうと努力している生徒さんの様子に聞き入り、見入ってしまいました。

県立学校長会議

4月13日、県立学校長会議が開催されました。

皆さんもご存知のようにこの4月より田村前教育長に替わり、伊藤博明（前観光振興部長）教育長が就任され、第2期教育振興基本計画（H28～31）の3年目に入り、しっかりとした取り組みを進めていくようにとのお話がありました。また出席されていた教育委員さんからも、学校に対する期待、激励の言葉をいただきました。

伊藤教育長は、学校現場を知るために積極的に学校を訪問してくださるということで、さっそく本校にも5月17日（木）午前中にお越しくくださる予定です。

PTA活動にご協力を！



PTA総会でもお願いしましたが、本校PTAではベルマークとエースワン・エーマックスのレシートを集めています。幼児児童生徒の教育活動に効果的な用品の購入や、教育環境の整備に役立てていきます。ぜひ積極的なご協力をお願いします。また集まったものの集計や、整理にもご協力いただけましたらとても助かります。